

各高等学校長殿

香川県高等学校野球連盟
会長 鏡原寿吉
(公印省略)

野球練習中の安全対策について

平素は、高校野球の興隆のためご支援を賜っているところでありますが、近年ともすれば技術向上に向けての効率のみを優先する傾向が見られ、ハードな練習に伴い有為な人材が事故及び故障等により、各種大会への出場が危ぶまれ、これまで積み上げてきた成果が水泡に帰する事例もでてきております。そのほとんどは野球練習中に起きています。このことに対し県高野連理事会において、県高校野球連盟事務局、常任理事、審判委員また各加盟校が自らの問題として厳粛に受けとめ、情報交換を深め合い練習のあり方について安全を第一に、選手の人格の形成と心身の鍛錬に努めるよう周知しているところであります。

また、平成31年度春季高校野球香川県大会抽選会、及び平成31年4月12日の県高野連理事会の席上において、「野球練習中の安全対策について」の周知徹底を図ったところであります。事故のほとんどは練習中に起こる場合が多いため、練習中の安全対策については下記の事項を確認し、十分な安全面へのご配慮をお願いします。

記

1. 施設面の安全対策

- (1) 防球ネットの弛み等施設・設備の点検を綿密に行う。
- (2) マシン前面用ネット・ボールを入れる選手の防護ネット（コの字ネット）を設置する。
- (3) 投手用L字ネットはL字の上の三角ネットを取り付ける。
- (4) 他のケージからの打球防止用の防球ネットを必要に応じ、十分に設置する。
- (5) 防球ネットの鉄枠には跳ね返り防止用の保護素材を取り付ける。

2. 練習中の安全対策

- (1) 三箇所並列方式の打撃練習は、極力避ける。ただし、実施する場合には、内野には一切選手を配置しない。
- (2) 投球はケージごとに順番で行い、他のケージの打球処理を確認したのち、投球させる。(マシン使用、2箇所打撃練習の場合も同様)
- (3) バッティング投手には、投手用ヘルメットを着用させる。
ピッチングマシンにボールを入れる選手、守備練習でノッカーのそばでボールを処理する選手、ベースコーチに立つ選手にも全員ヘルメットの着用を義務づける。
- (4) ピッチングマシンを利用する場合は、ボールを入れる選手の防護ネットを二重にする。また、マシン前の防護ネットの穴から他の個所のホームベースが直接見えないように防護ネットを配置する。(L字ネットも同様)
- (5) 女子マネージャーにマシンへのボール入れをさせない。
- (6) 外野で守備している選手は、絶えずボールの行方に注意しておく。
- (7) 他の部活動とグラウンドを共有している場合も、ボールの行方には十分に注意を払い、状況によっては防球ネットを設置するよう心掛ける。